Sakae Fuji

この取扱説明書は大切に保管をしてください。

新 楽楽炭焼

炭火おこし専用バーナー

JBC-0130

絵表示について次のような意味があります。

⚠ 警告　誤った取扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの

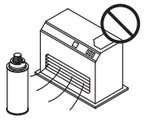
⚠ 注意　誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・財産などの損害に結びつくもの

⚠ 一般的な注意
⃠ 一般的な禁止
❗ 必ず行う

■使用容器（ボンベ）取扱上の注意

●容器（ボンベ、以下：ボンベ）は **Sakae Fuji** 表示がある専用容器（ボンベ）を必ずご使用ください。
それ以外のボンベを装着した場合、ガス漏れやガスが出ない等の不具合が発生します。
●ボンベに表示されている注意事項を良く読んでからご使用ください。

⚠ 警告

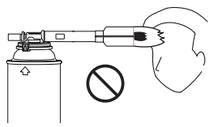


●ボンベが高温になりますと、ボンベ内の圧力が過多になり、爆発の原因となりますので下記の取扱いは守ってください。
・ボンベをストーブ（ファンヒーター）等の熱気のあたる場所、熱い砂の上や電磁調理器の上など熱の伝わる場所に放置しない
・輻射熱を受けやすいような至近距離での燃焼はしない
・炭等の可燃物に着火したらすぐにバーナーを消火し、ボンベを火元から離す
・車内や、火気・直射日光の当たる場所で保管しない
・ボンベを火中に投じない
・ボンベはバーナーから取り外し、キャップをして風通しが良く湿気の少ない４０℃以下の涼しい場所に保管する
●ガス漏れの原因となりますので下記の取扱いは守ってください。
・ボンベに強い衝撃を与えない
・著しく変形したボンベは使用しない
・ボンベは時々点検し、錆が発生している場合はガス漏れのないことを確認し、出来るだけ早めに使用する
●使用済みボンベへの再充填は禁じられています。
●ボンベは完全に使い切ってから各自治体の処理方法に従って捨ててください。

■使用方法と保管について

⚠ 警告

●Oリング等の消耗品（ゴム製）は経年により劣化します。（Oリングは製品内部にも使用しています）劣化するとガス漏れの恐れがあります。ご使用前にガス漏れを確認し、漏れている場合は危険ですので使用しないでください。
●やけどや火災の原因になりますので下記の取扱いを守ってください。
・点火時及び使用中にバーナー火口をのぞき込んだり、バーナー火口を人に向けたりしない
・使用の際は消火器や水を入れたバケツなどを用意し使用中及び使用後は火の元に十分注意する
・火が付いている場所から離れない
・火を付けたまま持ち運んだり投げたりしない
●ボンベは正しく装着してください。正しく装着されていない場合、ガス漏れ事故の原因となります。
●ガス漏れに気付いたら絶対に火を付けないでください。爆発することがあります。
●屋外専用です、室内では使用しないでください。

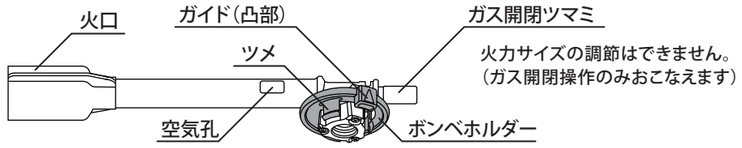


⚠ 注意

●風の強い時は使用を避けてください。
●紙、油など燃えやすい物の近くで使用しないでください。
●故障の原因となりますので絶対に分解しないでください。
●本製品内部に砂利や虫（巣を作ります）などが入らぬよう保管してください。
●ボンベは棚などの落下しやすい場所に置かないでください。落下しますと変形し、ガス漏れの原因となります。
●お子様の手の届かない場所に保管してください。また、お子様に使用させないでください。
⃠ 本製品は日本国内専用です。海外への持ち出しはしないでください。

本製品は「火」を扱う製品です。取扱いを間違えますと、やけど、火災等の危害を及ぼす恐れがあります。取扱説明書の注意事項をよくお読みいただいてからご使用ください。

各部の名称



容器（ボンベ）の装着

①ガス開閉ツマミの「閉」を確認します。※図1
②ボンベホルダーがボンベホルダー上面矢印「はずす」方向へ止まるまで回っていることを確認します。※図1
③ボンベの切込みとボンベホルダーのガイドを合わせ、本体を垂直におろしボンベホルダーを差込みます。※図2
④ボンベをボンベホルダー上面矢印「しめる」方向へカチッと止まるまで（約６０度）回します。※図3
⑤ガイドがバーナー本体の真後ろにある事を確認します ※図4

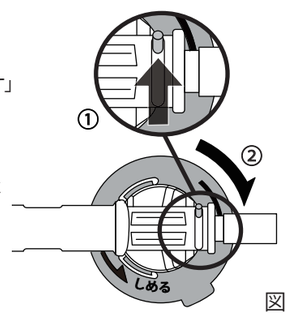


図１

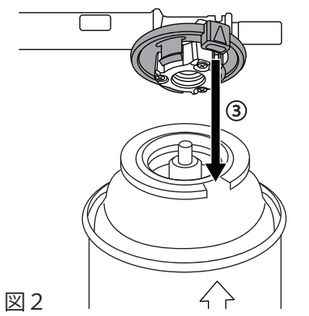


図２

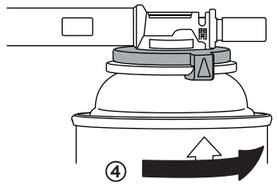


図３

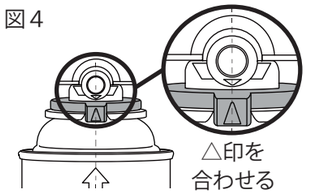


図４
⑤ 本体真後ろ

⚠ 注意

・ボンベが差込めない場合は、ガイドが所定の位置（「はずす」方向へ止まるまで回した位置）にあることを確認してください。所定の位置以外ですと装着できません。
・ボンベホルダーのツメ（３本）に変形がない事を確認してください。変形はガス漏れの原因となり危険です。
・装着時強く締めすぎると、ボンベやボンベホルダーが破損する恐れがあります。
・ボンベ装着後、ボンベのガタつきや、ガス漏れが無いか確認をしてください。

点　火

❗点火する前に、ガス漏れの無い事、また、周辺に引火物・可燃物がないことを確認してください。
①正立状態のままガス開閉ツマミを「開」方向へ止まるまでひねりガスを出します。※図５
②ガスが出ていることを確認しマッチやライターで点火します。※図６

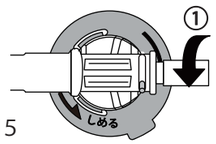


図５

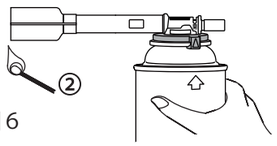


図６

⚠ 注意

・ボンベ装着時にガス漏れ（シューという音、ガス臭）に気付いたらガス開閉ツマミを「閉」にしてください。
ガス漏れが続く場合は点火操作しないでください。
・必ず火口の横から点火してください。正面からの点火はやけどの恐れがあり大変危険です。
・点火の際、空気孔を塞がないでください。空気不足により点火しません。

使用後はバーナーと容器（ボンベ）を外して保管する事

（ガス漏れ注意）

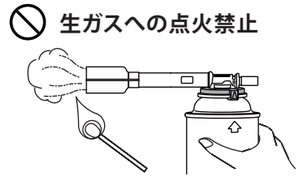
ボンベホルダーのツメが折れた時や変形がある時は使用禁止

（ガス漏れ・引火注意）

⚠ 警告

生ガスへの点火・燃焼は大変危険です

●赤く長い炎があがり（生ガス燃焼）やけど・火災の原因となりますので下記の取り扱いを必ずお守りください。
・火口より生ガス（白い霧状のガス）が出た時は点火しない（一度ガスをとめて、再度点火操作を行ってください）
・燃焼中に振らない、逆さ向きにしない
●赤く長い炎になった場合は、容器（ボンベ）を外したり投げたりせずに、正立の状態にしてください。
しばらくすると青い正常な炎になります。

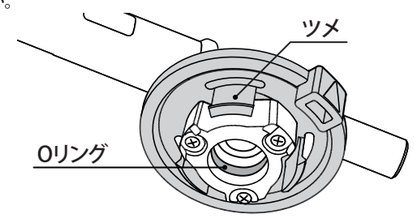


消火・容器（ボンベ）の取り外し

ガス開閉ツマミを「閉」の方向にとまるまで回しガスを止めます。完全に火が消えたことを確認してください。
ボンベの取り外しは装着と逆の手順でおこなってください。
❗ご使用後は製品が冷えてから必ずボンベを取り外して、ボンベにキャップをして保管してください。

日常の点検、手入れ

❗日常の点検・手入れは必ずおこなってください。
❗製品が十分に冷えてから容器（ボンベ）を外した状態でおこなってください。
・ボンベホルダーのツメ（３本）に折れや変形がない事を確認
・バルブ内にOリング（リング状の黒いゴム）が１ヶ入っている、またOリングにキズが付いていないことを確認
※ゴミや汚れが付いている場合は布等で軽くふき取ってください。



⚠ 故障や破損など不具合だと思われる製品は使用しないでください。思わぬ事故につながります。

お買い上げいただきました製品には万全を期していますが点検で不備な点、及び製品について不具合やご不明点があった際はお買い求めになった販売店・代理店、または弊社へご連絡ください。

ver.2